

母子草

発行所
水戸市八幡町 11-52
ラーク・ハイツ内
社会福祉法人
茨城県母子寡婦福祉連合会
029 (221) 7505
編集発行者
境 洋子

第517号



県母連は共同募金会の受配団体です。

第72回 関東地区母子寡婦福祉研修大会を開催

9月30日(日)、ホテルレイクビュー水戸において、「関東地区母子寡婦福祉研修大会」を開催しました。

大会には、小野寺副知事、高橋水戸市長、岡田参議院議員など多数の来賓の方々のご臨席を賜り、激励のお言葉などを頂きました。台風24号の影響が心配される中、茨城県外からの230名を含め450名の参加者が集いました。

シンポジウムでは、「正規雇用で安定就労」、「母子と寡婦 共にはぐくむ子どもの未来」、「すべての子どもに安心と希望を！」の3つのテーマで6名の方が発表し、コーディネーターの清山玲茨城大学教授の進行により、助言者からの確かなアドバイスがあり意義深い討議が行われました。

講演では、日本江戸しぐさ協会代表の山内あやり氏をお招きし、「江戸しぐさに学ぶ円満な人付き合いの手立て」と題した先人の知恵を今に生かす働き方、生き方のヒントのお話を頂きました。

最後に、母子寡婦福祉施策の充実などを盛り込んだ決議要望書と申し合わせ事項を採択しました。大会終了後の交流会では、アトラクションとして筑波山名物「ガマの油売り口上」と池田姉妹による「ヴィオラとピアノの演奏」があり、盛会のうちに終了しました。



会長のことば

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会
会長 境 洋子



第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会が無事開催できましたことは、私にとってこの上ない喜びと安堵感で一杯でございます。ご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様、そしてご多忙の中ご臨席を賜りましたご来賓の方々に心より厚くお礼申し上げます。

台風の影響が心配される中、県内外の沢山の方々に参加していただき、実のある大会になったことと確信しております。この大会の意義を認識し、母子寡婦福祉の向上に努めてまいりたいと思います。



県南ブロックだより

遠足に参加して

石岡市母子寡婦福祉会

熊谷 祥美

私が母子会があるということを知ったのは、子どもが小学校入学の時でした。母子会の方から、遠足や食事会、コストコのフードバンクなど様々な話を聞き、子どもと話し合い加入することにしました。

母子会に加入してから、初めてのイベントが平成30年8月5日の日曜日に、茨城県つくば市の「宇宙センター」と「エキスポセンター」へ夏の遠足があり、親子共々喜んで参加しました。

当日、石岡市のお祭りの絵が描かれている大き



なバスが来ると、大興奮の子どもたちでした。バスの中では、子ども同士で話をしながらのバス移動、とっても楽しかったです。

宇宙センターでは、宇宙の話やロケットの話を夢中で聞いたり見たりしました。そして、土日祝日に行われているロケットの打ち上げ音響体験に参加しました。20分間、ロケットの種類などの説明と音響体験は、とても迫力があり大喜びでした。

エキスポセンターでは、ロケット実物大模型におどろいていました。おもしろサイエンスゾーンで科学遊園、エアバズーカなど体験しました。なかでも風の力に負けないようにバランスをとるといふ、体を使って様々な力を体感するものが楽しく、何度も何度もやっていました。プラネタリウムは、子どもも楽しく見られるように、「はなかつぱ」のストーリーになっていて、とてもわかりやすく、子どもが星に興味を持つようになりました。

普段いろいろな場所に連れていってあげることができず、もどかしい気持ちでいましたが、この遠足に参加してよかったです。

今後も様々なイベントに参加し、母子の方たちと交流を深めていきたいと思えます。

すこやか交流事業に参加して

取手市母子寡婦福祉会

森 知子

ひとり親家庭の支援制度の親子ふれあい事業として「アクアワールド茨城県大洗水族館」「料理教室」「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」「キッコーマンもの知りしょうゆ館」野田工場見学に参加させていただきました。

レクリエーションに参加する時、同年代の子供たちとの出会い遊ぶ中で楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。

アクアワールドは10月31日に行ったので、ハロウィンの衣装を着たスタッフからお菓子ももらって大喜びしました。スタンプラリーでかわいいイラストのファイルももらうことが出来ました。またあるイベントに参加した時、参加者の子供から家の手伝いをして小遣いをもら

いCDなどを買っていると聞いて早速我が家でも実行しました。このような生活の刺激や頑張りにもつながっています。「今度はどこに行くの?」と催促されるほど楽しいです。取手市の職員の皆様、鴻巣会長、母子会の役員の皆様いつもありがとうございます。

取手市では10月28日に稲敷市にある森のイバライド(旧ポティロンの森)すこやか交流事業を31年1月に母子家庭指導講座で料理教室を計画しております。



牛久市母子父子福祉会の活動

牛久市母子寡婦福祉会

母子部副部長 長岡裕文

我が家は父子家庭6年目です。2年前から母子寡婦福祉会にお世話になっております。牛久市母子寡婦福祉会の母子部は、父子家庭も受け入れており、BBQや料理教室を中心に年数回集まり、親戚のように仲良く活動をしています。

9月は稲敷市にあるイバライドへ飯盒炊飯に行ってきました。母子部会員の9割にあたる24人の親子が集まり、薪コンロで飯盒を使いご飯を炊いた後に鍋でカレーを作りました。子供たちが積極的に料理に協力してくれて、お焦げも美味しくいただきました。ひとり親家庭だけでは、体験し難いことも、皆さんと協力することで可能となり、貴重な時間を過ごすことが出来てとても嬉しい限りです。

今回初めて体験した親子もありましたが素敵

な経験になったと思います。普段友達との交流が少ない我が子は、たくさんの友達やお母さん方と話しが出来て、とても楽しかったようです。

これからも、日頃出来ない様な体験が出来る活動をしてゆきたいと思います。



親睦を深めながら魅力ある会を目指し楽しんでいます

稲敷市母子寡婦福祉会

会長 黒田光枝

稲敷市母子寡婦福祉会始まって以来の計画が今回実現する事が出来ました。3月31日に母子家庭等指導講座を利用して頂き新1年生となる、お友達のお祝い会もかねバルーンアートでマスコットキャラクターの「いなすけ」を創作する研修会に招待出来ました。

これまで、お祝い会の計画をたてても地域性

なのか上手く行きませんでした。今回3名の新入生を含む母子、寡婦合わせた21名の参加でしたが稲敷市のマスコットキャラクターの「いなすけ」が茨城県第1位、全国大会で第5位に選ばれた為、その「いなすけ」をバルーンアートで作れる事を楽しみに参加下さいました。親子で協力し専用空気入れで少し厚めのしっかりしたゴムを膨らませ、空気が逃げない様結んで膨らませたバルーンを部分的に曲げて講師の先生の言葉どおり組み合わせました。シールで出来た目、鼻、口の形を子供達が貼り付け完成です。出来上がった作品の「いなすけ」を見て満足されていました。また講師の先生から花と



イチゴ型をしたゴムがプレゼントされ、子供達が空気を入れ、入れ加減で大小の花やイチゴが出来上がり大喜びでした。

また先生から「いなすけ」の髪形が稲藪米どころで有名ですが淡水パールの養殖もされている為と真珠を用いた髪形となっていると説明が有りお母さん達より、それで白く丸い稲穂なんですのねの声が有り納得です。と声が聴こえました。そして自分達の作品を観ながら、ささや

かなお祝い弁当と県より頂いたお祝い品を1人1人新1年生となるお友達に手渡し、会から用意した画用紙、えんぴつを参加者7人の子供達へプレゼントして楽しく触れ合いました。その結果2組の母子入会が得られました。今後も母子寡婦が協力して楽しい研修会を企画出来る様頑張りたいと思います。県母連様の暖かいご支援ご協力有難う御座いました。

初めての事業 ディズニーランドを企画・参加して

つくばみらい市母子寡婦福祉会

永野君代

つくばみらい市母子会では、今までいろいろな事業を行ってきましたが、親子でのディズニーランド見学は実施されていませんでしたが、昨年12月9日に念願だった「親子でディズニーランドへ」が実現しました。

お天気にも恵まれ、大勢の参加者と一緒に、大型バス一台車の渋滞を見込み早朝出発した。嬉しくて満面の笑みがこぼれるバスの中だが外は予想通り渋滞の仲間入り、ディズニーランドへ着くまで、約3時間かかりましたが、子供達は良くがまんしてくれて無事到着しました。会長さんから注意事項や約束事の説明を受けてから、親子で事前に決めてきたのでしょう各々のイベント会場へと姿を消して行きました。

クリスマスが近いので、イルミネーションに彩られどこの会場も混雑、順番を待つ時間も大へん、皆頑張っって並び、乗物やイベント会場等へも効率よく園内を廻りそれぞれ記念の写真等も撮り、親子で一日中楽しみ最後のパレードまで堪能して、両手におみやげを抱えて、約束の

時間9時、時間通り元気にバスに戻って来ました。帰りは今まで交流のなかった子や母親達が仲良しになっていました。帰途のバスの中では、満足して母の腕の中で目をとじている子もいました。

同行した私達寡婦も、思い切ってこの企画をして良かったなとしみじみ思い、安どし、共に一日を楽しく過させて戴きました。

今後も、楽しく、嬉しい企画を考え、それが母子会入会にも、つながればと念じつつ。



母子寡婦福祉研修大会に参加して

阿見町母子寡婦福祉会

栗山恵美

平成30年9月30日第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会が茨城県水戸市で開催されま

した。

私は町の母子寡婦会の先輩方2名とご一緒させていただき、今回初めて参加致しました。大型の台風24号が接近する中の開催となりましたが、沢山の来賓の方にもご出席を賜り、主催された連合会の皆様、関係各者の皆様のお力で大変意義のある時間を過させていただきましたことに感謝申し上げます。

「つなごう人の輪 守ろう地域の輪」というテーマを今大会の全国統一活動テーマとし、「正規雇用で安定就労」、「母子と寡婦共にはぐくむ子どもの未来」、「すべての子どもに安心と希望を!」、という3つの柱から各自自治体で活動されている母子、寡婦の方々の発表をお聞きすることができました。

1つ目のテーマである雇用に関しましては、資格取得に利用できる制度とその活用例をご報告いただき、大変参考になりました。

2つ目のテーマで母子寡婦会の会員減少の実態と各自自治体の方々の努力を知り、私自身も会員として今後について深く考える機会となりました。

3つ目のテーマでは、子ども食堂や学習支援の活動に尽力されている方々の事例をお聞かせいただきました。すべての子どもたちの為にと動いて下さっている方々の熱意が嬉しく、母子家庭で子どもを育てている一母親と

して、又、保育を仕事としている立場から私もその一員として何か力になることがあれば参加させていただきたいと思いました。

大会へ引率して下さった会員の方々にも娘を可愛がっていただき、年代を越えたつながりを持つことができましたことに感謝致します。ありがとうございました。



お知らせ広場



介護職員初任者研修を受講して

ひたちなか市 檜山 江里子
私は今、特別養護老人ホームで介護職員として働いています。知識が全くないところからのスタートで職場の先輩方に教えていただきながら業務をしていましたが、やはりきちんと学びたいという気持ちが強くなりこの研修を受講しました。研修を受けてみて感じたことは、今まで職場で教えてもらっていた実務にはたくさんの理由や意味があってすごく奥の深いものなんだということです。1人1人の利用者と向き合いながら適切な介護をするためにはもっともっとたくさんの経験や学びが必要なんだと思います。ここで教わった講義や演習体験、講師の先生方の体験談もとてもためになりました。介護の仕事は大変なことも多くありますがやりがいの感じる仕事なので教わったことを生かしながらこれからもがんばりたいです。



茨城県母子家庭等就業・自立センターから

毎年、母子家庭の母・父のための就業支援講習としてパソコン講習を実施しています。平成30年度のパソコン初級講習会は、講習日数を増やし、より充実した内容になっております。今年度の募集は終了いたしました。大変好評で多数の方に申し込みいただきました。昨年、実施したパソコン初級講習会の受講者の方の感想をご紹介します。

ゆっくり丁寧に教えていただいたので、とても分かりやすかったです。手を挙げると、すぐに先生が教えに来て下さるので、疑問がすぐに解決されるのがよかったです。また、テキストには載っていないような便利な機能も勉強出来て役に立ちました。覚えるのが、楽しくて、もっとパソコンを勉強したいと思いました。(A.F)

善意の贈り物

6月29日(金)、株式会社ケアレジデンス「コミュニティガーデン百合ヶ丘」(代表者 萩野裕道氏)様から、昨年引き続き、ディサービス利用者によるチャリティバザー収益金として、13万円相当のクオカードが寄贈されました。

ご寄贈いただいたクオカードは、母子生活支援施設ラク・ハイツの入所者が毎月行っている母親集会において、寄贈の趣旨などを説明し、子どもたちの健全育成のために役立ててもらおうよう各世帯に配付しました。ご厚情に深く感謝申し上げます。



平成30年度下半期の会員参加(主要)行事

日 程	行 事 名	場 所
1月18日(金)	理事会・評議員会(午前10:30~)	ラク・ハイツ会議室
	新年懇談会(午後12:30~)	ホテルレイクビュー水戸
2月8日(金)	平成30年度市町村母子寡婦福祉指導者等研修会	県民文化センター
2月24日(日)	平成30年度県母子寡婦福祉連合会母子部長等会議	ラク・ハイツ会議室
3月8日(金)	理事会(午前10:00~)	ラク・ハイツ会議室
3月25日(月)	評議員会(午前10:00~)	ラク・ハイツ会議室

編集後記

- ◇ 今年は台風が日本列島に上陸する数が多い年でした。9月初旬の台風21号に続き、下旬にも非常に勢力の強い台風24号が上陸しました。
- ◇ 9月30日に第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会を開催しましたが、前日までは気象情報に憂慮し、当日開催中も鉄道の運休の交通情報など、心配が途絶えませんでした。
- ◇ それでも、スタッフとしてお手伝い頂いた会員の皆様や県内外の多くの方に参加いただき、盛会に終わることができましたこと、心より感謝申し上げます。(事務局長)

母子会 加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。
あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ

(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会
TEL029-221-7505